

# 地域の会員と連帯し、新成人へ平和を呼び掛ける

” 鹿行5市すべての会場で！新春宣伝 ”

●鹿行平和委員会は、1月13日（日）、鹿行5市で開催されたすべての成人式会場で、新成人に対するアピール行動を行ないました。鹿行地域では毎年12月に入るとすぐ、鹿行労連に結集する労働組合を中心に、農民連、民商、平和委員会、新婦人の会、政党等が結集し、「鹿行地域春闘実行委員会」を結成します。この実行委員会の最初のとりくみが鹿行五市の新成人に対するアピールです。

事前に、呼び掛け文を印刷した角封筒を準備、全労連の「権利手帳」、母親連絡会の「赤紙」、茨城労連のテッシュ等を入れて準備完了。成人式会場に集合し、新成人に声を掛けながら直接手渡します。今年も鹿行五市で2000部を配布しました。

鹿嶋市の会場では、9時半に15人が集合。2～3人のグループに分かれて配布しました。ハンドマイクを1台用意し、参加団体の紹介や、「新成人を取り巻く厳しい雇用環境を地域の仲間と連帯して改善しよう」「憲法九条を守り発展させよう」などをと訴え



ました。羽織袴で茶髪など、奇抜な感じの新成人も目立ちましたが、外見と違って受け取りは非常によく、「これ、何が入っているの？」など、声を掛けてくれる新成人も多く、説明をするとほとんど快く受け取りました。「今年の新成人は礼儀がいいね」というのが参加した人の共通した意見です。このような取り組みは、県内市町村の各会場で行なわれました。

## 「5・3憲法フェスティバル」のとりくみ進む

講演「前泊博盛（まえどまりひろもり）」 沖縄国際大学教授（前琉球新報論説委員）

実行委員として主体的に参加しよう

5・3憲法フェスティバル第1回実行委員会が12月20日（木）に開催されました。

昨年末の総選挙では自民党と公明党で325議席を占め、12月26日に安倍自公政権が復活しました。6割を超える自民党の294議席は、マスコミでも指摘されているように、小選挙区制による「虚構の多数」ですが、軽んじるわけにはいきません。閣僚の顔ぶれは、右翼改憲派で占められ、超タカ派の改憲勢力が再び中央に躍り出てきました。

当面、憲法9条を変えることを目指しながら、まずは96条の変更を先行し、「改正」のハードルを低くすることを狙っています。自民党の憲法改正草案では、発議の条件を「3分の2」から「過半数」へと引き下げ、その後の「改正」を格段に容易にするといいます。96条の改正のあとに浮上するのは当然9条の「改正」です。現在の自衛隊を「国防軍」とし、「集団的自衛権の

行使を可能とする」ことや「徴兵制」まで視野に入れていきます。

第1次安倍政権による憲法改悪の動きを押しとどめたのは、平和委員会はもちろん、特に九条の会を中心とした全国規模の草の根運動が大きき力だったと言われます。私たちは地域を中心にした草の根運動をさらに進めると同時に、5・3憲法フェスタを成功させる必要があります。

第2回実行委員会は「1月30日（水）午後6時～水戸市備前町国際交流センター」で開催します。



【昨年、しのつく雨の中で開催された憲法フェスタ】

## 2.11には、こぞって 百里平和公園へ！

国政が右へ～右へ～と、舵を切っていくことが懸念されるいま！平和を希求する多くの人が集まりましょう！

とき：2月11日（月・祝日）正午より  
（午前11時頃から模擬店・歌声が始まります。）  
ところ：百里平和公園  
主催：百里基地反対同盟  
後援：百里基地反対連絡協議会



【昨年の百里まつりのスナップ】

歓迎！新入会員のみなさんです。  
宜しくお願ひします。

- 菊地 雅夫 さん（水戸市）
- 諸星 嘉津雄 さん（潮来市）

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

### 平和新聞

2013年1月15日・25日 合併号

2006号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 644 合併号  
2013.1/15,1/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 青い空とおおきな雲と

中山 弘子  
(花だいこん)

雲 山村暮鳥

おういくもよ ゆうゆうと  
馬鹿にのんきそうじゃないか  
どこまでゆくんだ  
ずっと磐城平までゆくんか



空を眺めるのが好きです。青空を大きな雲がゆったりと形を変えながら流れていく。見ているだけで時間が止まり、あたまの中のネジが弛みます。「旅にでるなら、どこがいいかしら」と思いを巡らす。このマッタリした時間がたまらなくいいのです。気象条件で大きく変わるようですが、雲は平均40～50kmで動いています。どの方向に移動するのか、雲の下は雨が降っているのだろうか、などと考えて見るのも面白いです。

東日本大震災で福島第一原発が爆発した時、私は茨城県が風下で、放射能はこちらに真直ぐ飛んでくると思いました。しかし飯館村の方向に流れ、その後南下しました。放射能ブルームは、北茨城から高萩、日立、ひたちなかを通り、一度海に出て、また陸地に戻り、各地にホットスポットを作りました。

もし東海第二原発で福島のような事故が起きれば、この地域で平均的な風速20m/s(そよ風)の時に、県庁までは約4.5時間で放射能ブルームが到達する計算になります。UPZ(緊急時防護措置区域)圏内に106万人が暮らしています。安全に避難できるはずがありません。

「春は桜の山でピクニック、夏は雄大な積雲の下で海水浴、秋はいわし雲に季節の変化を感じ、冬は真っ白な雪の中を駆けまわる。」私たちは安心して自然と触れ合うことのできる暮らしを、未来の子どもたちに手渡すことができませんでした。

総選挙で自民党が圧勝し原発ゼロの方針は雲行きが怪しくなっています。なんとしても東海第二原発を廃炉にしたい。安心して暮らせる未来をつくりたい。そのために広く大きな輪をつくっていきたいと思います。



## 平和の本棚

### 『憲法9条裁判闘争史』

著者 内藤 功

かもかわ出版2012年 定価3150円



若くして総評弁護士幹事長の要職。その後、国会の場で獅子奮迅。一貫して実践の場で憲法の大切さをたたかってきた、81歳の内藤さんありがたい本を出してくれました。

それも若手弁護士のインタビューに答える話し言葉なのでわかりやすく、簡にして要を得ています。内容は、序章 原点で自らの生い立ちなどを語る。第1章・砂川闘争、第2章・恵庭事件、第3章・長沼訴訟、第4章・百里裁判、第5章・イラク訴訟、終章・現在、となっています。

茨城のわれわれは百里基地については知っていても、同じ憲法裁判をたたかった、砂川闘争、恵庭事件、長沼訴訟、百里裁判、イラク訴訟などとの横の関連がつかめないうでした。憲法9条改正が声高に叫ばれている状況で、過去のたたかいを見つめその成果・教訓を掴むことは大切なことに思う。内藤さんのこの著作が大いに参考になると請け合いです。一読おすすめします。(伊達)

## 土浦平和の会ニュース

### 新春のアピール



1. 私たちは原発の再稼働を認めず、ただちに廃炉の準備にかかることを要求します。

(活断層の問題ではなく 核燃サイクル未完成の未熟なシステムが地球を破滅に導く)

1. 私たちは軍事大国化に反対し、平和外交の厳守を要求します。(外交力に期待し 世界の良識を信じよう)

1. 私たちは憲法改悪を認めません。

1. 私たちは消費税依存の経済政策に反対します。

1. 私たちは沖縄でのオスプレイの訓練に反対し、自衛隊への導入を認めません。

土浦平和の会役員一同

## [シリーズ] わが街・わが会員

水戸市/岡村 瑞比古さん

(茨城県自治体問題研究所 事務局次長)

希望のある  
明るい年を目指して



【氷結した袋田の滝】

新年おめでとうございます。昨年暮の総選挙で自民党が圧勝し第二次安倍自公内閣が誕生しました。改憲や消費税増税を推進する自公民・維新・みんなの「大連合」が狙いです。

TPP交渉参加や原発再稼働など米国や財界からの突き上げがあり公約違反の動きが出てきました。今年は参議選や知事選など大変重要な年です。国民の利益に立って踏ん張る年です。

私は、茨城県自治体問題研究所に勤務して7年目です。皆さんに支えられて何とかやってきました。市町村合併や三位一体改革によって大きく情勢が変化してきています。高齢化による会員の減少も大変気になります。皆さんと力を合わせて前進させたいです。

さて、昨年は東海第2原発廃炉を求める署名を知事に対し、271,573筆提出しました。団体、個人、県内外から廃炉に向けて熱い思いが込められていました。地域や職場で取り組み、特に若いお母さんたちの取り組みは子供に与える放射能のことを考えて熱心さに感動をしました。今年3月を目標には30万筆に向けて取り組むことになっています。

3. 11で起こった被害は計りしれませんが福島第1原発事故による放射能は日本に限らず世界中から害悪に満ちています。原発ゼロは勿論、除染や放射能廃棄物の処理も重要な課題です。東日本大震災の一日も早い復興を願うとともに住民と共に歩む自治を探求し「希望のある明るい年を目指して」頑張りたいと思います。